

【各調査の概要】

○2023 年度 町田市文化・芸術に関する市民意識調査

(以下「2023 年度 文化芸術に関する市民意識調査」という。)

- ・調査対象
町田市内在住の 18 歳以上の者 3,000 人 (無作為抽出)
- ・調査期間
2023 年 9 月 1 日 (金) ~ 9 月 15 日 (金)
- ・調査手法
郵送配布、郵送・WEB 回収
- ・有効回答率
30.3% (回収数 909 件)

○2022 年度 町田市文化芸術活動団体へのアンケート調査

(以下「2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査」という。)

- ・調査対象
市内で活動する文化芸術団体 200 件
- ・調査期間
2022 年 12 月 27 日 (火) ~ 2023 年 1 月 13 日 (金)
- ・調査手法
郵送配布、郵送・WEB 回収
- ・有効回答率
50.4% (回収数 : 108 件)

○ (仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画子どもセンターアンケート

(以下「2023 年度 子どもセンターききとり調査」という。)

- ・調査対象
市内子どもセンター 6 館に来館された小学生から高校生
- ・調査期間
2023 年 7 月から 8 月
- ・調査手法
対面でのききとり

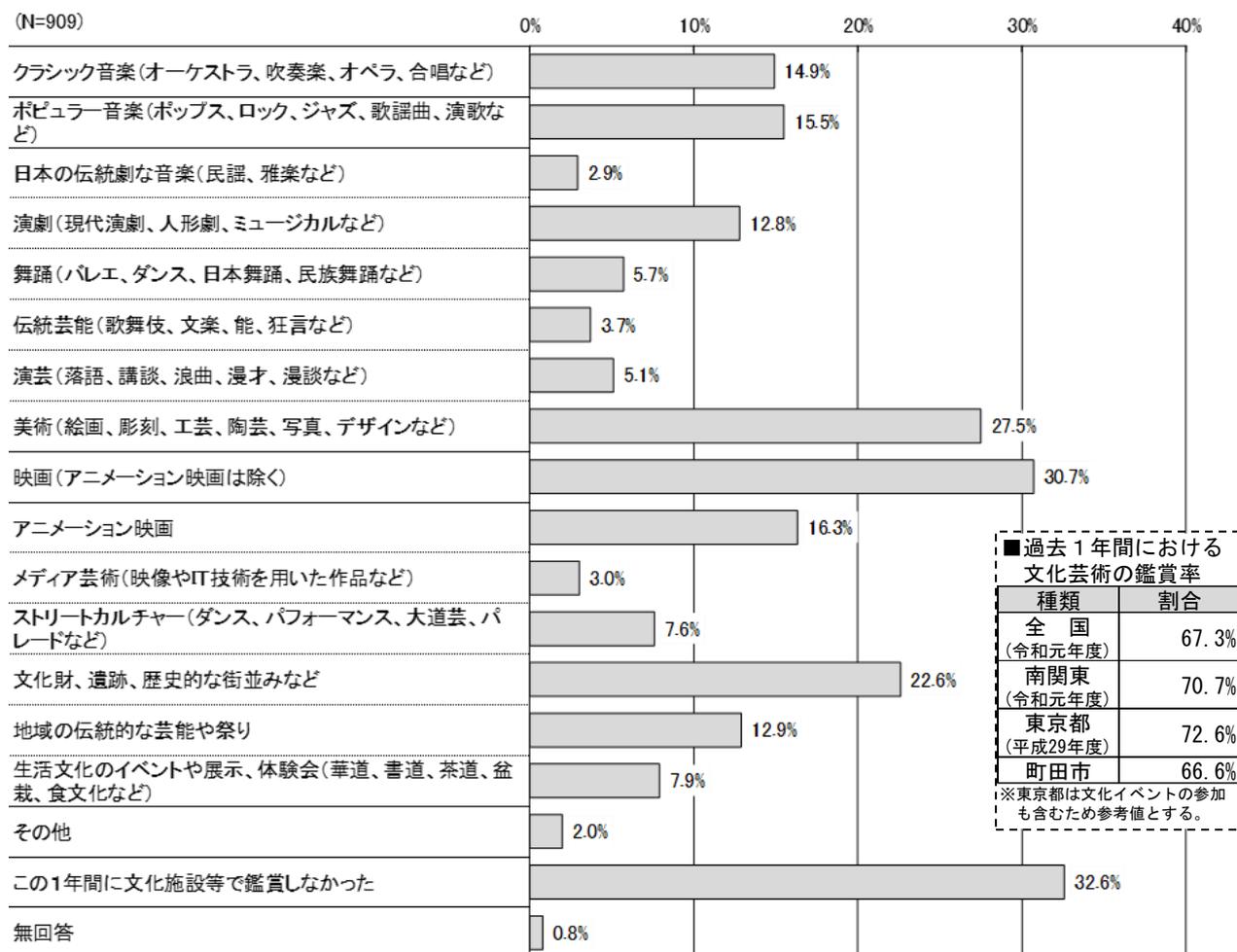
■図表1 2022年度の文化芸術関連の事業(抜粋)

市民への鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターでのふれあいコンサート ・障がい福祉施設でのみんな笑顔の展覧会 ・町田一番街夏フェスティバル ・まちだ版 旅する絵本 ・まちなかシネマ ・パリコレッ! ギャラリーなど
市民が行う文化活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭 ・ゆうゆう版画美術館まつり ・コミュニティセンターまつり ・生涯学習センターまつり ・市美展 ・町田さくらまつり ・シルバー展 ・文学館まつり など
次世代の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> ・版画美術館での子ども向け講座 ・小中学校発表会・作品展 ・ことばらんどショートショートコンクール など ・ひなた村祭 ・図書館でのおはなし会
文化芸術に関する情報収集、情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・町田デジタルミュージアム ・#おうちで文学 ・ひとことPOPコンテスト ・ハイクで俳句 など
市民や学校等の交流・連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文学館まつり ・市民協働フェスティバル「まちカフェ!」 など ・生ッ粋祭
社会的課題解決や共生社会の実現に向けた事業	<ul style="list-style-type: none"> ・笑って学ぶ交通安全の集い ・まちだECO to (いーこと) フェスタ ・体験講座くらべてみよう! 今と昔のエコライフ など ・税の作品展
文化資源の保存・継承・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・町田時代祭り ・薬師池公園四季彩の杜「秋遊び」のデジタル掛け軸 ・町田の歴史を歩く ・民俗展 むかしの暮らしと運ぶ道具 ・小中学校への出張歴史授業 など

■図表2 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

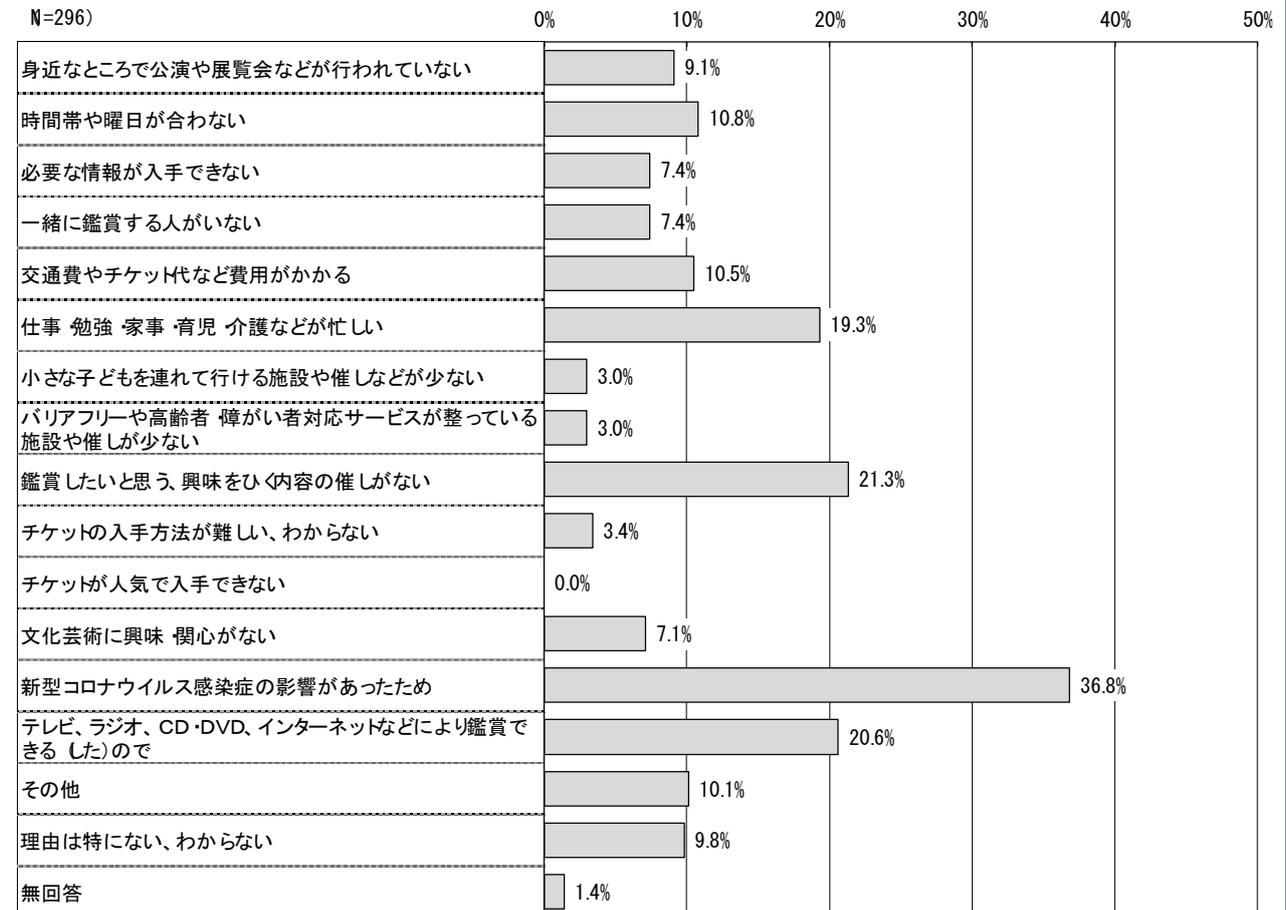
問9 あなたは、この1年間に、ホールや劇場、美術館、博物館、映画館などにでかけて文化芸術を鑑賞しましたか。(テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞)(いくつでも)

* 比較は東京都「文化に関する意識調査」(2017)、文化庁「文化に関する意識調査」(2020)



■図表3 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

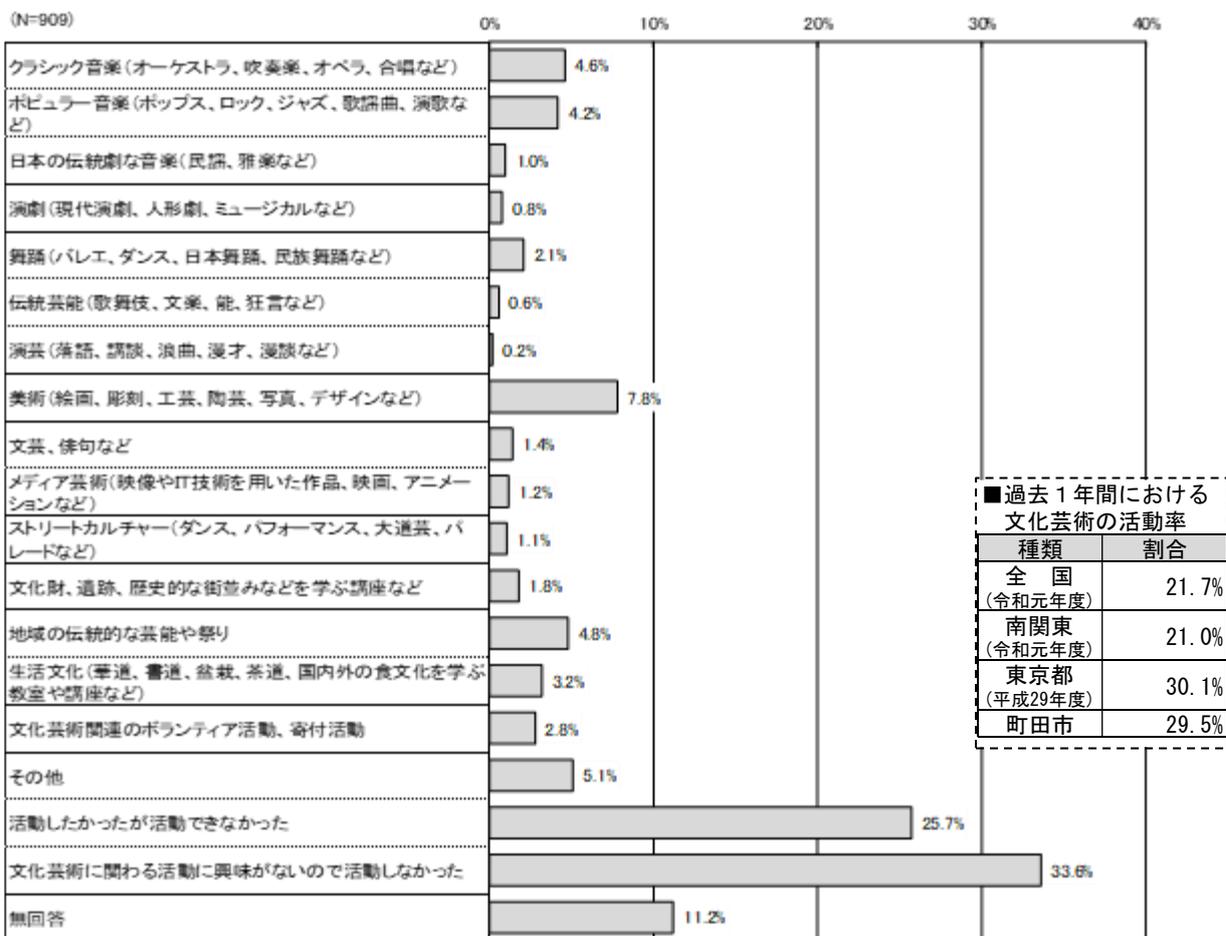
問11 鑑賞しなかった主な理由は何ですか。(3つまで)



■図表4 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

問 13 あなたは、この1年間に、文化芸術に関わる活動（創作や出演、習い事、体験活動への参加など）をしましたか。（いくつでも）

* 比較は東京都「文化に関する意識調査」（2017）、文化庁「文化に関する意識調査」（2020）



■図表5 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

問9 あなたは、この1年間に、ホールや劇場、美術館、博物館、映画館などにでかけて文化芸術を鑑賞しましたか。(テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞) (いくつでも) 【健康状態別】

	クラシック音楽	ポピュラー音楽	日本の伝統的な音楽	演劇	舞踊	伝統芸能	演芸	美術	映画	アニメーション映画	メディア芸術	(%)
全体(N=909)	14.9	15.5	2.9	12.8	5.7	3.7	5.1	27.5	30.7	16.3	3.0	
健康面で特に問題はない(普段の活動には問題はない)(N=816)	15.7	16.1	2.7	13.5	6.1	4.0	5.0	28.8	33.1	17.5	3.3	
介助・介護が必要な方(N=24)	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	
障がいのある方(N=34)	2.9	8.8	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	14.7	14.7	11.8	0.0	
その他(N=34)	8.8	14.7	5.9	5.9	0.0	2.9	5.9	14.7	5.9	2.9	0.0	

	ストーリーチャーター	文化財、遺跡、歴史的な街並みなど	地域の伝統的な芸能や祭り	生活文化のイベントや展示、体験会	その他	この1年間に文化施設等で鑑賞しなかった	無回答	この1年間に、ホールや劇場、美術館、博物館、映画館などにでかけて文化芸術を鑑賞した人の割合(100%から「鑑賞しなかった・鑑賞できなかった」と「無回答」を除く)
全体(N=909)	7.6	22.6	12.9	7.9	2.0	32.6	0.8	66.6
健康面で特に問題はない(普段の活動には問題はない)(N=816)	7.6	23.7	13.6	8.5	1.8	30.1	0.2	69.7
介助・介護が必要な方(N=24)	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	70.8	16.7	12.5
障がいのある方(N=34)	14.7	8.8	5.9	5.9	2.9	52.9	0.0	47.1
その他(N=34)	5.9	20.6	5.9	2.9	5.9	52.9	2.9	44.2

■図表6 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

問 13 あなたは、この1年間に、文化芸術に関わる活動（創作や出演、習い事、体験活動への参加など）をしましたか。（いくつでも）【健康状態別】

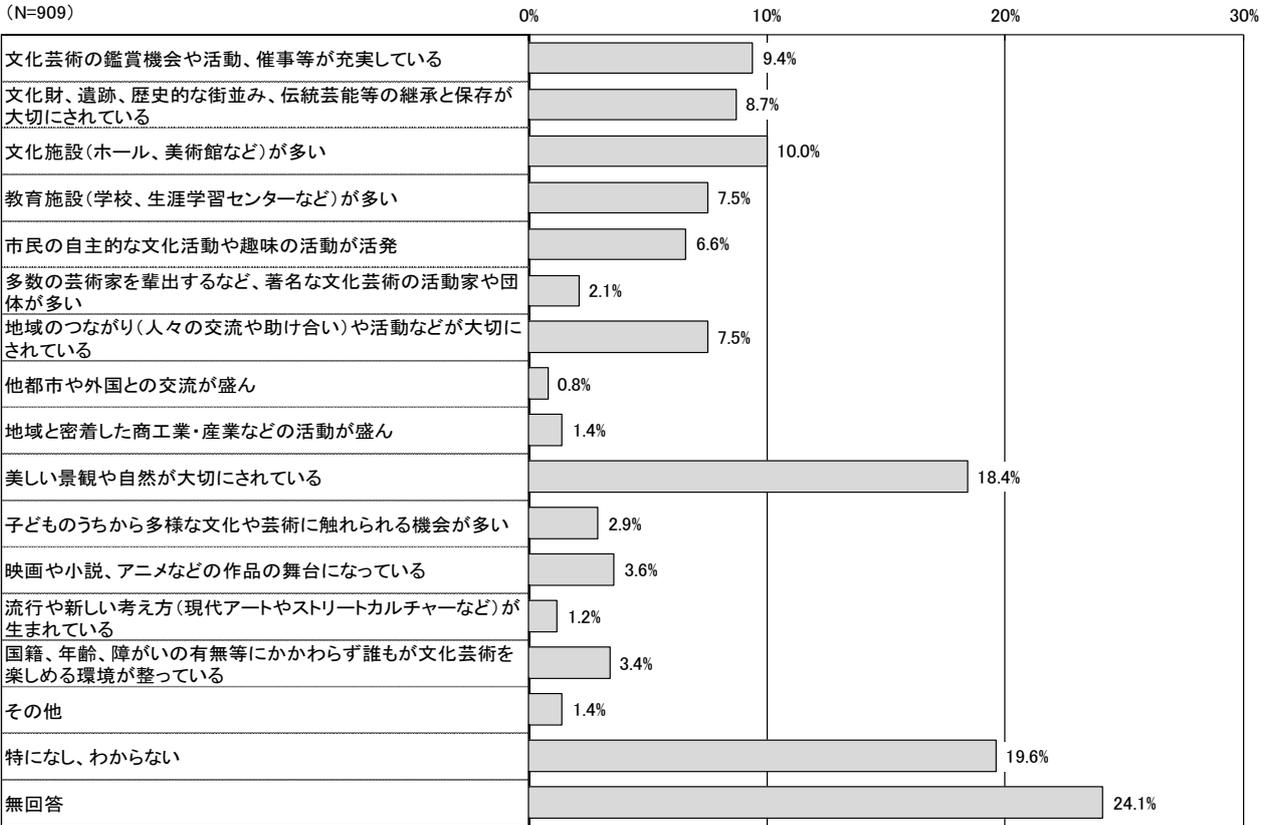
(%)

	クラシック音楽	ポピュラー音楽	日本の伝統劇的な音楽	演劇	舞踊	伝統芸能	演芸	美術	文芸、俳句など	メディア芸術	ストーリーカルチャー
全体(N=909)	4.6	4.2	1.0	0.8	2.1	0.6	0.2	7.8	1.4	1.2	1.1
健康面で特に問題はない（普段の活動には問題はない）(N=816)	4.5	3.9	1.1	0.7	2.3	0.6	0.2	8.1	1.6	1.2	1.0
介助・介護が必要な方(N=24)	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
障がいのある方(N=34)	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	2.9	5.9
その他(N=34)	2.9	11.8	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0

	文化財、遺跡、歴史的な街並みなどを学ぶ講座など	地域の伝統的な芸能や祭り	生活文化	文化芸術関連のボランティア活動、寄付活動	その他	活動したかったが活動できなかった	文化芸術に関わる活動に興味がないので活動しなかった	無回答	この1年間に、文化芸術に関わる活動（創作や出演、習い事、体験活動への参加など）をした人の割合（100%から「活動したかったが活動できなかった」、「文化芸術に関わる活動に興味がないので活動しなかった」、「無回答」を除く）
全体(N=909)	1.8	4.8	3.2	2.8	5.1	25.7	33.6	11.2	全体(N=909) 29.5
健康面で特に問題はない（普段の活動には問題はない）(N=816)	2.0	5.0	3.6	2.9	5.0	25.6	35.2	8.8	健康面で特に問題はない(N=816) 30.4
介助・介護が必要な方(N=24)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	29.2	41.7	介助・介護が必要な方(N=24) 8.3
障がいのある方(N=34)	0.0	2.9	0.0	0.0	11.8	32.4	17.6	26.5	障がいのある方(N=34) 23.5
その他(N=34)	0.0	5.9	0.0	2.9	2.9	26.5	20.6	26.5	その他(N=34) 26.4

■図表7 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

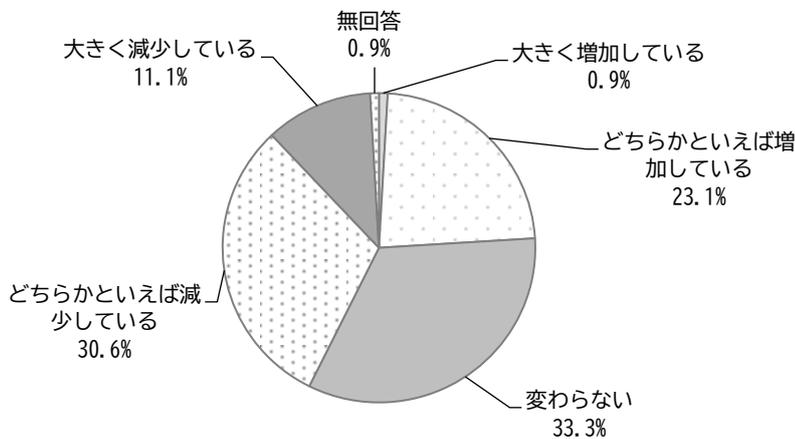
問20 「問19 文化的なまち」の言葉のイメージの選択肢のうち、町田市のイメージに合うものがあれば番号をご記入ください。(いくつでも)



■図表8 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

問5 3年前と比較した会員数の増減を教えてください。設立から3年以内の団体は設立時からの比較でお答えください。(1つだけ)

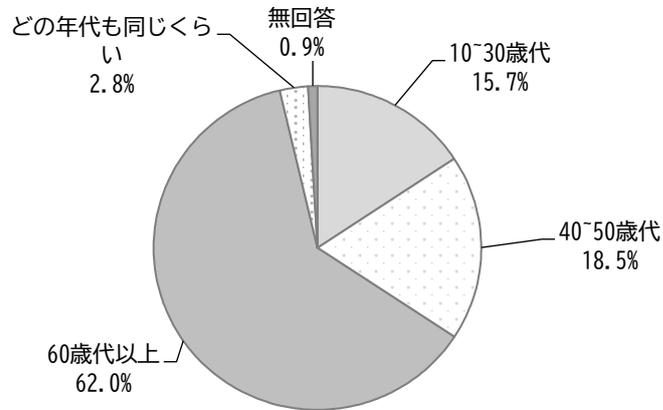
(N=108)



■図表9 2022年度文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

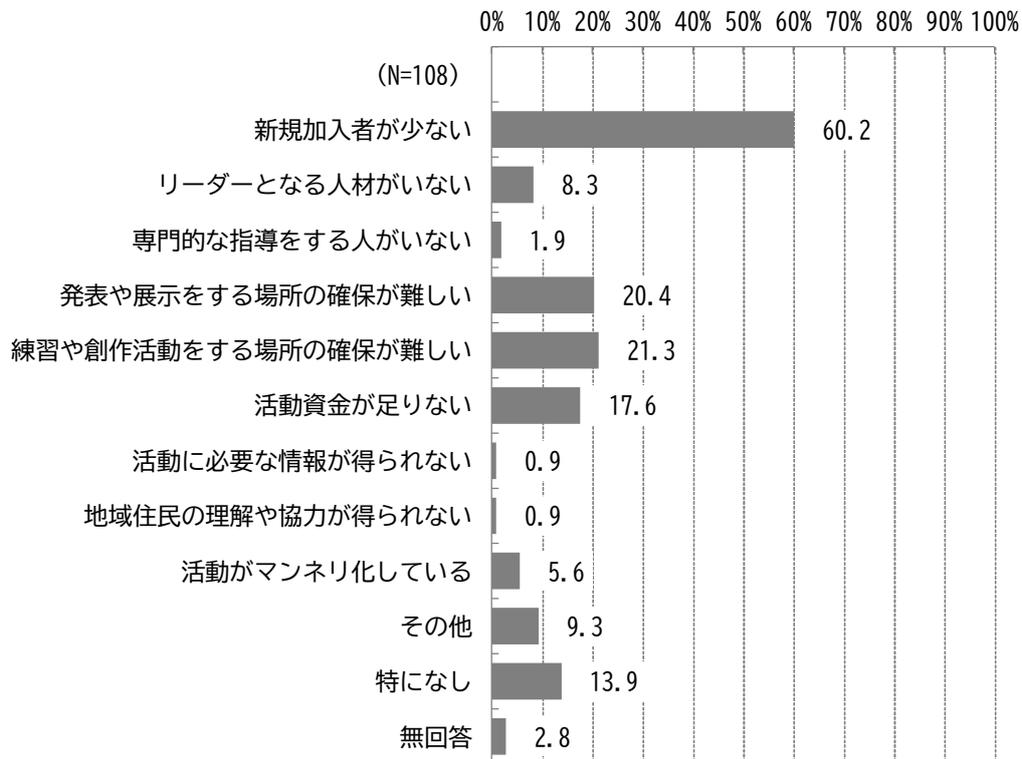
問3 会員の中で最も多いのはどの年代の方ですか。(1つだけ)

(N=108)



■図表10 2022年度文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

問18 団体の活動においてどのような課題がありますか。(いくつでも)

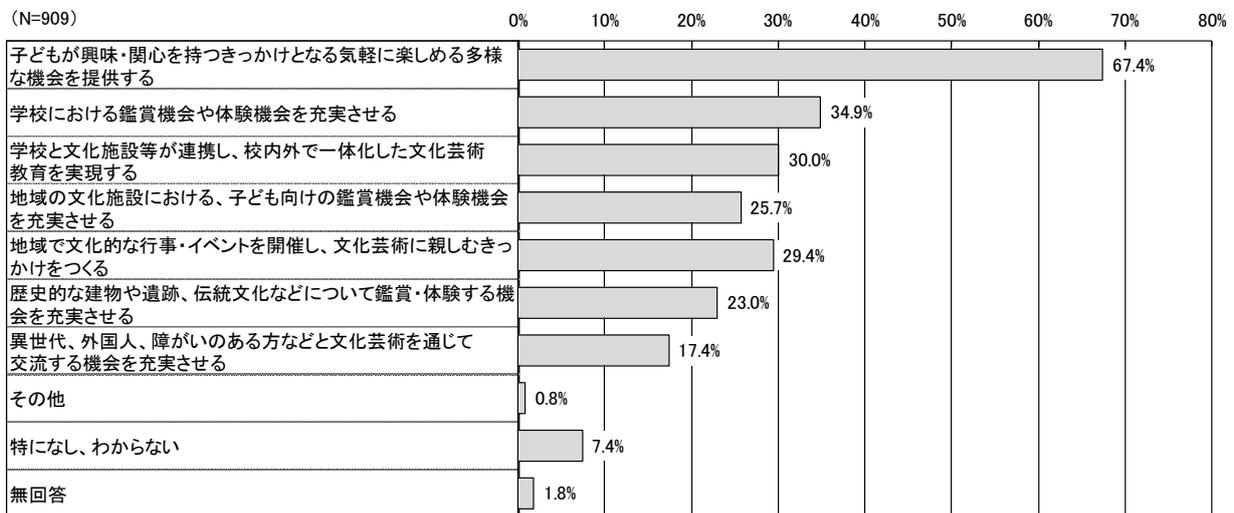


■図表 11 文化芸術関連の職業人口（2020年国勢調査より）

項目	町田市	八王子市	神奈川県	神奈川県	神奈川県	千葉県 柏市
			相模原市	藤沢市	川崎市	
音楽家、舞台芸術家	720人(0.2%)	680人(0.12%)	550人(0.08%)	240人(0.05%)	3,840人(0.2%)	200人(0.04%)
美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	1,880人(0.4%)	1,700人(0.29%)	2,200人(0.3%)	1,260人(0.3%)	8,050人(0.5%)	1,280人(0.3%)
著述家、記者、編集者	560人(0.1%)	520人(0.09%)	490人(0.07%)	640人(0.1%)	2,840人(0.2%)	540人(0.1%)

■図表 12 2023年度 文化芸術に関する市民意識調査結果

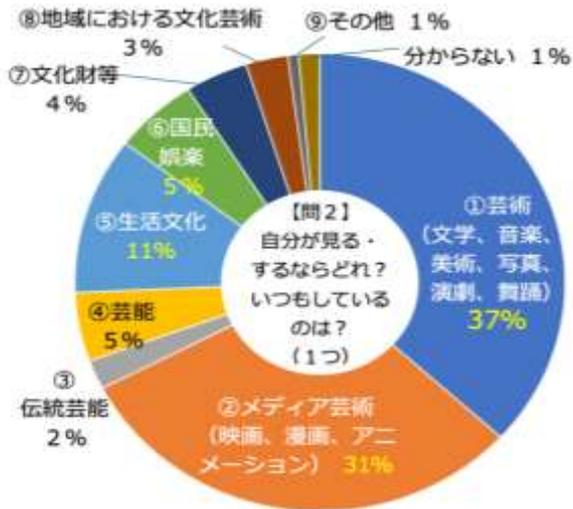
問 26 あなたは、中学生以下の子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（3つまで）



■図表 13 2023年度 子どもセンターききとり調査結果

問2 文化芸術について、自分が見る・するとしたら何がいいか。(1つだけ)

* 町田市内6つの子どもセンターで4歳から高校3年生までの145人に意見聴取。



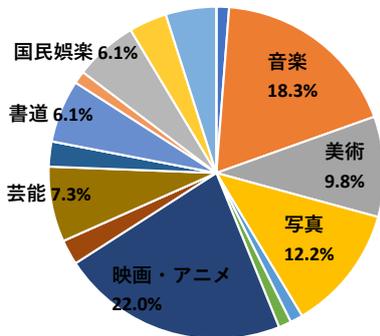
【選択肢①及び②を選んだ理由】

- ・いつも家や習い事等でしているから
- ・好きだから、楽しいから
- ・周りのみんながしているから
- ・うまくできるようになるとうれしいから

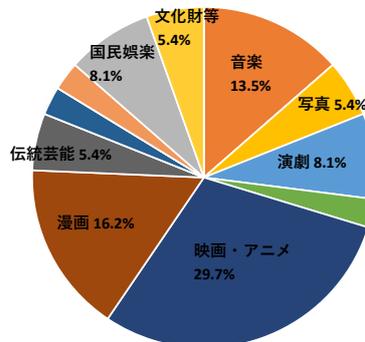
【選択肢③及び⑤、⑧を選んだ理由】

- ・新しいことにチャレンジしてみたいから
- ・知らないからこそやってみたいから
- ・家族等身近な人がしているのを見ているから

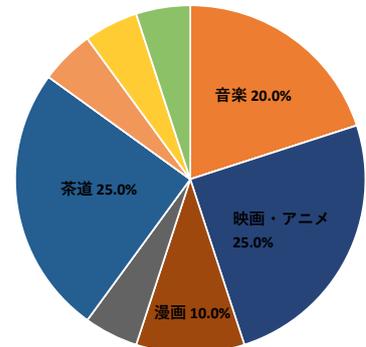
小学生



中学生



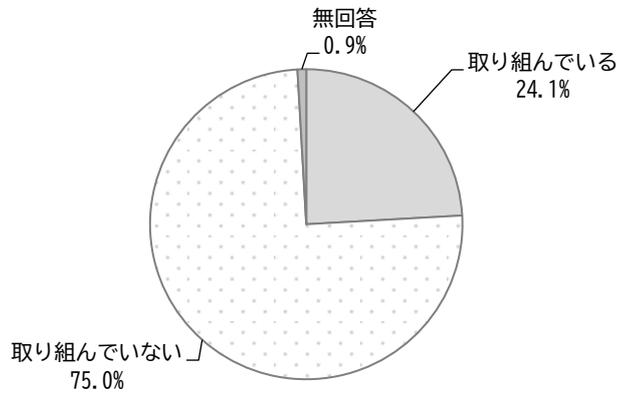
高校生



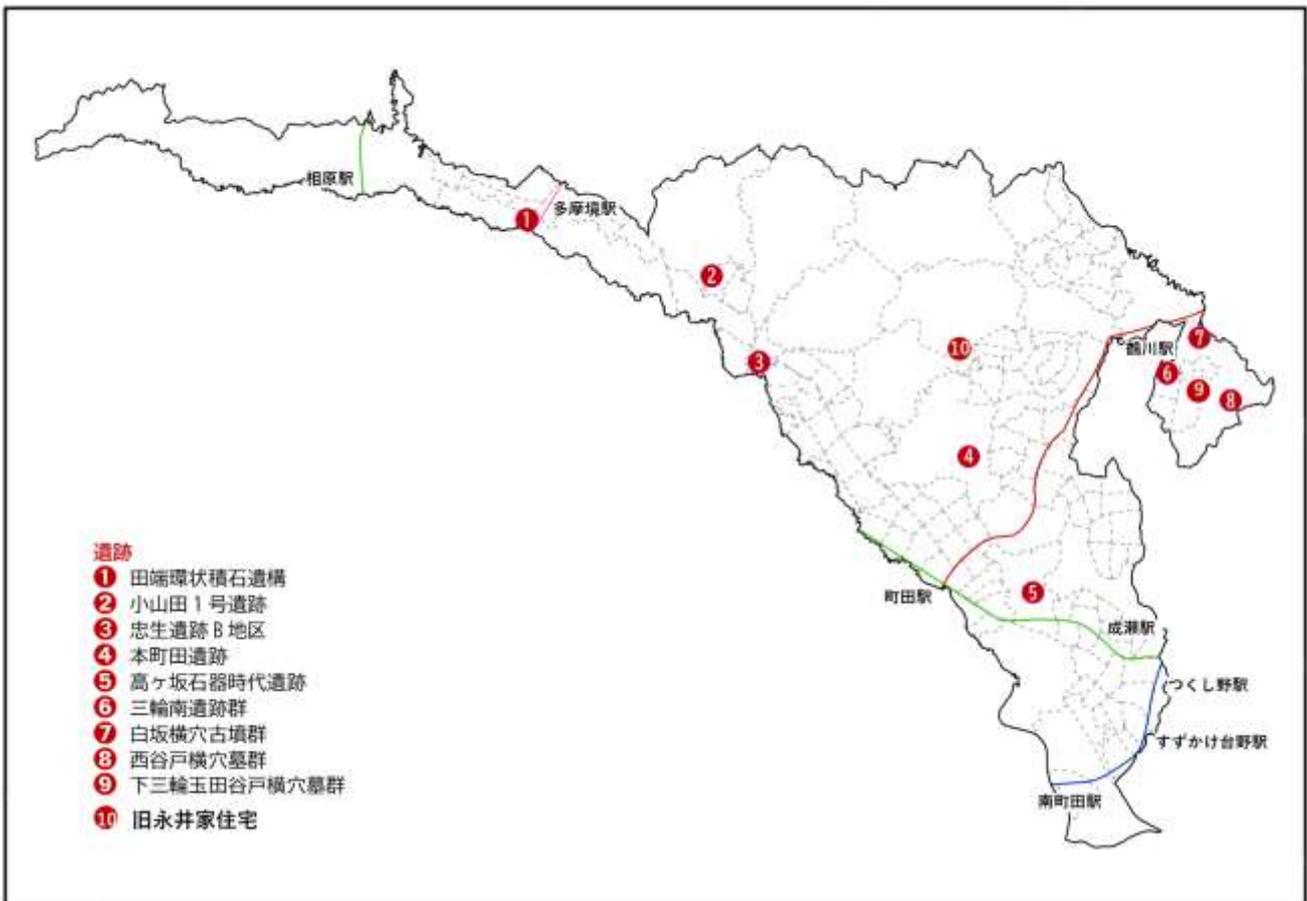
■図表 14 2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

問 9 他の分野の団体と連携した活動に取り組んでいますか。

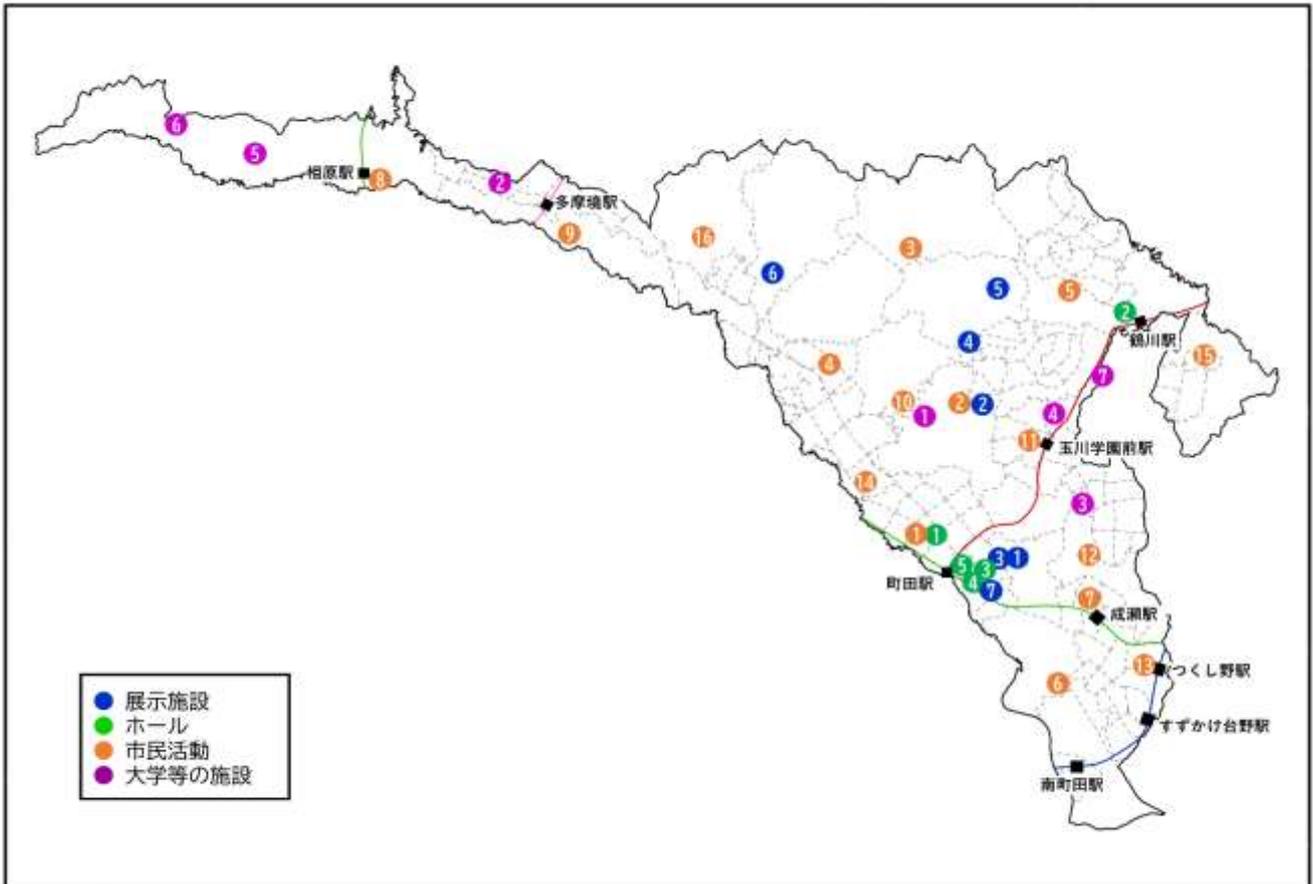
(N=108)



■図表 15 町田市内の主な遺跡の配置図



■ 図表 16 町市内の主な文化芸術施設の配置図



展示施設

- ① 町田市立国際版画美術館
- ② 町田市立博物館
- ③ 町田市民文学館ことばらんど
- ④ 町田市フォトサロン
- ⑤ 町田市立自由民権資料館
- ⑥ 町田市考古資料室
- ⑦ 町田市立図書館

ホール

- ① 町田市民ホール
- ② 和光大学ポプリホール鶴川
- ③ 町田市民フォーラム
- ④ 町田市文化交流センター
- ⑤ 町田市生涯学習センター

その他の施設

- ① 町田市庁舎
- ② 青少年施設ひなた村
- ③ 小野路宿里山交流館
- ④ 忠生市民センター
- ⑤ 鶴川市民センター
- ⑥ 南市民センター
- ⑦ なるせ駅前市民センター
- ⑧ 堺市民センター
- ⑨ 小山市民センター
- ⑩ 木曾山崎コミュニティセンター
- ⑪ 玉川学園コミュニティセンター
- ⑫ 成瀬コミュニティセンター
- ⑬ つくし野コミュニティセンター
- ⑭ 木曾森野コミュニティセンター
- ⑮ 三輪コミュニティセンター
- ⑯ 上小山田コミュニティセンター

大学等の施設

- ① 桜美林芸術文化ホール
- ② サレジオ工業高等専門学校 サレジアンホール
- ③ 昭和薬科大学 記念講堂
- ④ 玉川大学 University Concert Hall 2016
- ⑤ 東京家政学院大学 大江スミ記念ホール
- ⑥ 法政大学 百周年記念館
- ⑦ 和光大学 Jホール

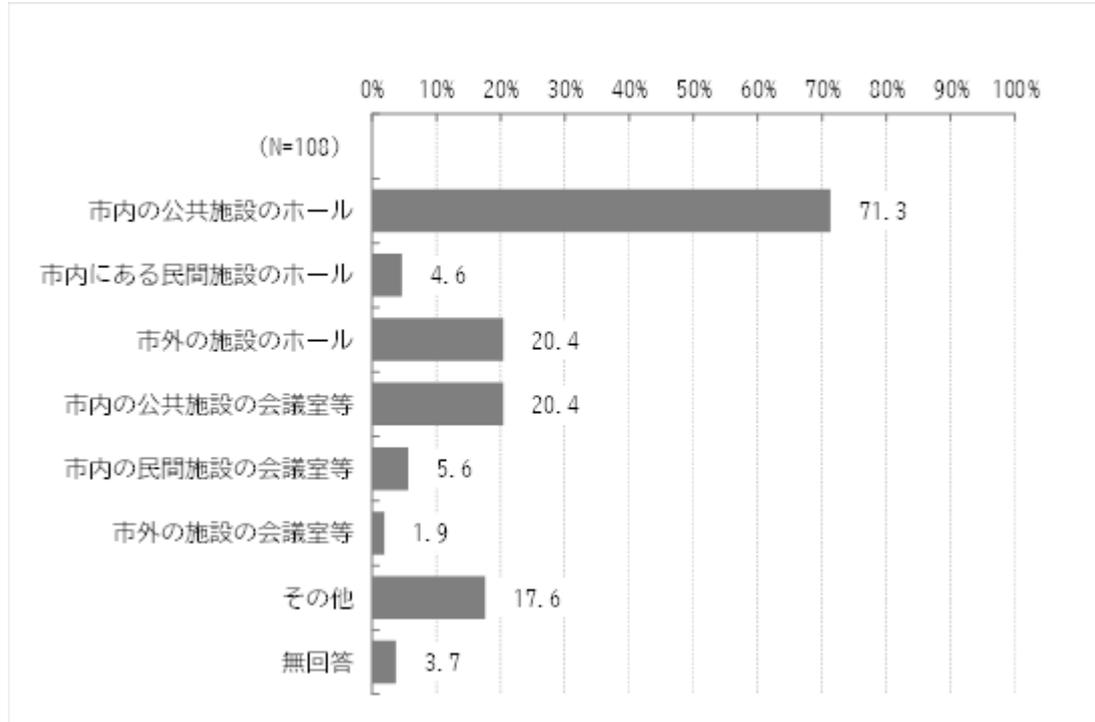
■ 図表 17 周辺市の主なホールの状況

各自治体ホームページより作成

町田市	八王子市	神奈川県 相模原市	神奈川県 藤沢市	神奈川県 川崎市	千葉県 柏市
町田市民ホール (862人)	八王子市民会館 (J:COMホール八王子) 2021席	相模原市文化会館(相模 女子大学グリーンホール) 大ホール(1790席) 多目的ホール(240席)	藤沢市民会館 大ホール(1380席) 小ホール(434席)	川崎市スポーツ・文化総 合センター(カルッツかわ さき)(2013席)	市民文化会館 大ホール(1338 人) 小ホール(300人)
和光大学ポプリ ホール鶴川 (300席)	八王子市芸術文化会 館(いちょうホール) 大ホール(802席) 小ホール(288席)	相模原市民会館 大ホール(1270席) 小ホール(799席)	藤沢リラホール (200席)	川崎シンフォニーホール (ミュージア川崎シンフォ ニーホール) 音楽ホール(1,997席) 市民交流室(150席)	アミューゼ柏 (400席)
町田市文化交流 センター (最大220人)	八王子市南大沢文化 会館 主ホール(500席) 交流ホール(270席)	社のホールはしもと 大ホール(539席) 多目的室(200席)	湘南台文化センタ ー市民シアター (633席)	川崎市麻生市民館(麻生 文化センター) (1,002席)	中央公民館 講堂(171人)
町田市民フォー ラム (定員188人)	八王子学園都市セン ター (最大288席)	神奈川県立相模湖交流 センター (456席)	Fプレイス ホール(300人) 多目的交流ホール (157人)	川崎市アートセンター (214人,113人)	
町田市生涯学習 センター (定員158人)				川崎能楽堂(148人) 新百合トウェンティワン ホール(450人) ラゾーナ川崎プラザソル (200人) 川崎市総合福祉センター (923人) 川崎市立労働会館 (762人) 川崎市産業振興会館 (478人) 川崎市国際交流センター (264人)	

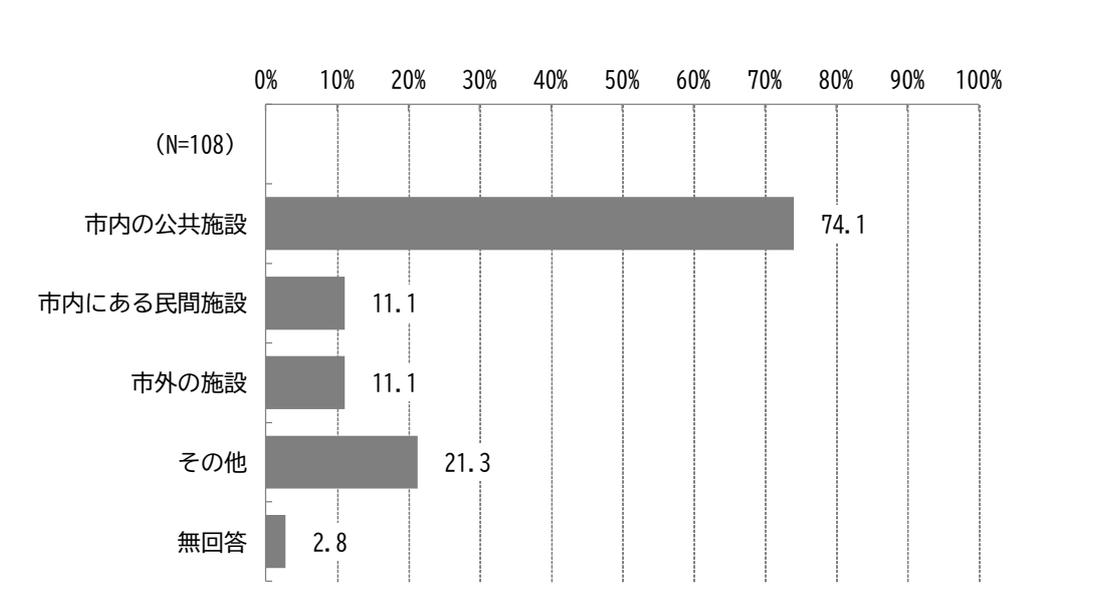
■図表 18 2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

問 1 2 成果の発表や展示会などに利用している施設や場所を教えてください。(いくつでも)



■図表 19 2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

問 1 5 日常的な練習や創作などの活動に使っている施設や場所を教えてください。(いくつでも)



■図表 20 現状と課題の対応表

		課題1	課題2	課題3	課題4	課題5	課題6	課題7	課題8	課題9	課題10
		る文化芸術の機会を拡充	デジタル文化芸術の技術の推進	様々な文化芸術の機会を確保	団体等々の文化芸術活動の支援	の文化芸術を育成	子どもたちの文化芸術の鑑賞・活動環境の充実	る文化芸術の整備・活用	実文化芸術資源の保存・充	文化芸術情報の提供の強	新たな文化芸術の価値の創
現状											
5 (1) 社会情勢の	①地域コミュニティの衰退と地域の文化芸術の担い手不足が進行している。					○					
	②多様性社会の実現が求められている。			○							
	③デジタル技術を活用した文化芸術が広がっている。		○							○	
	④地域の民族文化財蓄積が脆弱化している。								○		
	⑤民と官の協働活動や、企業の文化芸術支援活動が広がっている。										○
	⑥公立文化芸術施設の効果的かつ効率的な運営が期待されている。							○			
	⑦世の中の変化を予測しにくくなっている。										○
5 (2) 国の動向	①「文化芸術基本法」の改正。										○
	②「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の施行。			○							
	③「文化財保護法」の改正。								○		
	④「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」の施行。										○
	⑤「博物館法」の改正。		○								
	⑥文化庁の「文化芸術推進基本計画(第2期)」が閣議決定。										○
6(1)人口	①町田市の人口は減少傾向になると推計されている。 ②0~14歳の年少人口の転入超過数が、政令市を除いて全国1位。					○	○				
6(2)立地	①都心部へのアクセスが確保されている。都市機能と豊かな自然環境が共存している。										○
	②町田駅の1日の乗降客数は、50万人。										○
	③町田市および近郊の大学には、多くの芸術系学部が集まっている。				○						
7 (2) の鑑賞や活動	①市民が文化芸術鑑賞は、全国や南関東、東京都平均より低い。鑑賞しなかった理由は、「鑑賞したい催しがない」「インターネットにより鑑賞した」「仕事や家事、介護等が忙しい」。	○	○					○			○
	②市民が文化芸術活動参加は、全国や南関東より高く、東京都平均より低い。	○						○			
	③健康状態別の文化芸術鑑賞は、介助・介護が必要な方は12.5%。			○							
	④健康状態別の文化芸術活動は、介助・介護が必要な方は8.3%。			○							
	⑤市民が抱く町田市の文化のイメージは、「特がない」が最も高い。										○
7 (3) の担い手活	①市民ホール等で活動した市内団体の会員数は、3年前比較と同程度。					○	○				
	②市内文化芸術団体の参加者は、60歳代以上が6割以上で、新規加入者は少ない傾向にある。					○	○				
	③文化芸術活動をしている文化芸術団体以外の団体があります。					○	○				
	④音楽家、美術家、デザイナー等のアーティストの居住割合が高い。					○	○				
7 (4) 子ども	①子どもには、文化芸術の多様な機会を提供することが重要だと考える市民が多い。							○			
	②子どもは「どのような文化芸術がいいか」という問いでは、「音楽」と「映画・アニメ」が高い。							○			
	③「町田市子どもにやさしいまち条例」を制定。							○			
7 (5) 社会性	①「町田市性の多様性の尊重に関する条例」を施行。			○							
	②「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」を施行。			○							
7 (6) と他の連携	①市内文化芸術団体のうち、文化芸術以外の分野の団体と、連携した活動に取り組んでいるのは、4分の1程度。					○					
	②市内文化芸術団体のうち、文化芸術以外の分野の団体と、連携した活動に取り組んでいるのは、4分の1程度。					○					
7 (7) 状況資源	①町田市立博物館には、国内トップレベルの陶磁器・ガラス作品のコレクションがある。								○		
	②縄文時代の遺跡が多く、貴重な遺物なども出土している。								○		
	③国指定文化財が2件、都指定文化財が16件が登録されている。								○		
	④無形民俗文化財が5件が登録されている。								○		
7 (8) 施設の整備状況	①日本でも珍しい「町田市立国際版画美術館」がある。								○		
	②多摩26市唯一の総合文学館である「町田市民文学館ことばらんど」がある。								○		
	③町田の歴史を紹介する「自由民権資料館」がある。								○		
	④市内の考古資料や発掘調査に関する記録類の収蔵・保管する「考古資料室」がある。								○		
	⑤市民が「文化芸術活動の発表や展示等に利用している施設」「日常の練習や創作活動に利用している施設」は、市内公共施設が最も高い。								○		
	⑥「町田市民ホール」は、開館45年が経過している。市民センターなど、老朽化した施設が大半。								○		
	⑦市立博物館の収蔵物の適切な保全・展示場所が確保できていない。								○		
	⑧「町田市公共施設再編計画」では、集約化する一方で、建物の長寿命化や民間のノウハウを取り入れるとしている。								○		